

審査基準

審査の項目	配点	審査の視点	審査の視点の具体例
(1)業務理解度	20	業務の内容と事業目的を正しく理解できているか	・本業務の内容について、十分に理解し、事業目的に沿った提案がされているか
(2)地域コーディネーターによる滞在型観光プラン整備計画のフォローアップ	60	仕様に掲げる業務内容を達成できる実施方法となっているか	・広域観光組織が中心となり、市町村や観光協会、関係事業者等を巻き込みながら、滞在型観光プラン整備計画のPDCAサイクルを回していくための効果的な支援方法やスケジュールが提案されているか ・広域観光組織の観光地域づくりに必要なマーケティングやマネジメント機能の強化につながる内容が提案されているか
(3)実証事業やマーケティングアドバイザーの配置等の各種支援	60	仕様に掲げる業務内容を達成できる実施方法となっているか	・実証事業の実施や取組内容に合った専門家(講師、アドバイザー)の招へい等による取組の磨き上げ支援について、各地域の取組内容に合わせて、実効性のある取組とするための具体的な方法が提案されているか
(4)実施体制	30	事業目的を達成する適当な実施体制が整っているか	・事業の目的を達成するために必要なノウハウや体制が確保されているか ・地域コーディネーター及びマーケティングアドバイザーは業務内容を遂行できるノウハウや実績を有した人材が確保されているか ・本業務の実施にあたり、自社、他社を問わず必要な人材やネットワークが確保されているか ・過去に国や他の自治体において、観光事業者等の人材育成や観光地域づくり等、本事業と類似業務の実績があるか
(5)スケジュール	20	事業目的を達成する適切なスケジュールか	・事業の目的を達成するための具体的なスケジュールが提案されているか
(6)経費見積	10	見積は適正か	・予算の範囲内であり、積算内訳及び根拠が明確に示されているか ・仕様に掲げた業務経費が全て計上されているか ・提案された業務規模と経費見積もりが大きくかけ離れていないか ・過剰な経費見積もっていないか